



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 東洋紡株式会社

コード番号 3101 URL <http://www.toyobo.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜原 誠慈

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 久保田 冬彦 TEL 06-6348-3044

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	82,734	△7.5	4,602	3.1	3,411	△21.4	2,430	5.7
28年3月期第1四半期	89,454	7.9	4,464	11.4	4,337	23.9	2,299	9.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △445百万円 (-%) 28年3月期第1四半期 2,934百万円 (2.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2.74	-
28年3月期第1四半期	2.59	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	431,956	156,548	35.5	172.83
28年3月期	444,587	160,101	35.3	176.75

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 153,442百万円 28年3月期 156,915百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	3.50	3.50
29年3月期	-	-	-	-	-
29年3月期(予想)	-	0.00	-	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	170,000	△5.4	12,000	14.2	11,000	14.0	6,000	12.0	6.76
通期	360,000	3.5	25,000	8.1	23,000	12.8	13,000	28.1	14.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	890,487,922株	28年3月期	890,487,922株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	2,686,875株	28年3月期	2,684,458株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	887,802,620株	28年3月期1Q	887,830,614株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、世界経済においては、米国経済が堅調な個人消費に支えられて回復基調を継続しましたが、中国では景気の減速感が強まり、また欧州では英国のEU離脱問題が起こるなど、先行き不透明な状況が続きました。一方、国内では、消費増税が見送られるなか、景気はゆるやかな回復基調を維持しました。

このような環境のもと、当社グループは、「環境、ヘルスケア、高機能で、社会に貢献する価値を、創りつづけるカテゴリー・リーダー」をめざし、特長のある製品を、国内外の市場へ展開しております。当第1四半期連結累計期間においても、平成30年3月期までの4年間の中期計画で掲げた「海外展開の加速」、「新製品の拡大・新事業の創出」、「国内事業の競争力強化」、「資産効率の改善」、「グローバル経営機能の強化」の5つのアクションプランに沿って、事業活動を進めました。

「海外展開の加速」においては、エンジニアリングプラスチック事業で、米国を中心とした海外市場にて販売の拡大に努めました。また、エアバッグ用基布事業では、ドイツの原系メーカーの共同買収を背景に、タイ・中国・米国における生産拠点の整備と新たなユーザーへの拡販に注力し、当連結会計年度後半からの拡大に向けた体制づくりを進めました。

「新製品の拡大・新事業の創出」では、液晶偏光子保護フィルムとして展開する“コスモシャイン SRF”については、大手偏光板メーカーに本格採用されたことを機に、国内外での一層の拡販に努めました。また、神経再生誘導チューブ“ナーブリッジ”については、国内では販売体制の強化に努める一方、米国食品医薬品局（FDA）の承認を取得、さらに製造設備の能力増強を行うなど、今後の海外展開に向けた準備を進めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比67億円（7.5%）減の827億円となり、営業利益は同1億円（3.1%）増の46億円、経常利益は同9億円（21.4%）減の34億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同1億円（5.7%）増の24億円となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

## (フィルム・機能樹脂事業)

当事業は、液晶市場の調整や国内自動車生産台数減少などの影響を受けたものの、フィルム新製品が販売を伸ばし、また、一部の機能樹脂製品でも拡販が進み、前年同期に比べ、減収増益となりました。

フィルム事業では、包装用フィルムは、夏物商品向けの販売が堅調に推移しました。一方、工業用フィルムは、“コスモシャイン SRF”が、大手偏光板メーカー向けの出荷を軸に大幅に販売を伸ばしました。

機能樹脂事業では、工業用接着剤は“バイロン”が缶塗料用途やIT・電子関連用途で苦戦しましたが、ポリオレフィン用の“ハードレン”が、自動車塗料・インキ用途で販売を伸ばしました。エンジニアリングプラスチックは、国内では自動車生産の海外シフトが進み、苦戦しましたが、海外では積極的な拡販により、販売は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比33億円（8.6%）減の355億円、営業利益は同7億円（32.6%）増の28億円となりました。

## (産業マテリアル事業)

当事業は、スーパー繊維の一部が好調に推移したものの、エアバッグ用基布や生活・産業資材が苦戦し、前年同期に比べ、減収減益となりました。

エアバッグ用基布は、国内自動車生産台数減少の影響で苦戦しました。スーパー繊維は、“イザナス”がロープ・ネット・釣り糸用途が好調に推移したものの、“ザイロン”の販売は低調に推移しました。生活・産業資材は、ポリエステル短繊維は堅調に推移しましたが、バッグフィルター用PPS繊維“プロコン”が、市況悪化の影響を受け苦戦しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比16億円（9.1%）減の162億円、営業利益は同7億円（56.7%）減の5億円となりました。

## (ヘルスケア事業)

当事業は、バイオ事業とメディカル事業が堅調に推移し、前年同期に比べ、増収増益となりました。

バイオ事業では、主力の診断薬用酵素が為替の影響を受けましたが、診断システムやライフサイエンス用試薬は販売を伸ばしました。メディカル事業では、医薬品製造受託が堅調に推移しました。一方、機能膜事業では、海水淡水化用逆浸透膜の交換膜販売が低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比5億円（7.2%）増の71億円、営業利益は同2億円（19.2%）増の11億円となりました。

**（繊維・商事事業）**

当事業は、テキスタイルは堅調に推移しましたが、アクリル繊維が苦戦し、前年同期に比べ、減収減益となりました。

スポーツ衣料製品や輸出向けナイロン織物は、順調に販売を伸ばしました。インナー用途は苦戦しましたが、ユニフォーム用途は、堅調に推移しました。

テキスタイルは、中東向け特化生地への輸出が為替の影響を受けたものの、堅調に推移しました。アクリル繊維は、中国向け輸出でアンチダンピング政策の影響を受け苦戦しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比11億円（5.4%）減の201億円、営業利益は同3億円（58.7%）減の2億円となりました。

**（不動産事業、その他事業）**

当事業では、不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等のインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比11億円（22.0%）減の39億円、営業利益は同2億円（48.9%）増の7億円となりました。

**（2）財政状態に関する説明****資産、負債及び純資産の状況**

総資産は、前年度末比126億円（2.8%）減の4,320億円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が減少したことによります。

負債は、前年度末比91億円（3.2%）減の2,754億円となりました。これは主としてその他の流動負債が減少したことによります。

純資産は、その他有価証券評価差額金などの減少や、配当金の支払などにより利益剰余金が減少したことから、前年度末比36億円（2.2%）減の1,565億円となりました。

**（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

当第1四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、概ね予想通りに推移しており、平成29年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成28年5月12日に発表しました予想から変更は行っておりません。

**2. サマリー情報（注記事項）に関する事項****追加情報****（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）**

従来、決算日が12月31日であった連結子会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より、TOYOBO U. S. A., INC. ほか4社は決算日を3月31日に変更し、東洋紡高機能製品貿易（上海）有限公司ほか4社は連結決算日に実施した本決算に準じた仮決算に基づく財務諸表を使用する方法へ変更しております。この変更に伴い、当第1四半期連結累計期間は平成28年1月1日から平成28年6月30日までの6ヶ月間を連結しております。

**（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針）**

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,258	16,036
受取手形及び売掛金	81,176	73,595
商品及び製品	44,416	45,027
仕掛品	15,498	15,722
原材料及び貯蔵品	15,424	15,309
その他	10,253	10,842
貸倒引当金	△390	△355
流動資産合計	186,633	176,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,966	48,946
機械装置及び運搬具(純額)	44,105	45,478
土地	106,025	105,915
その他(純額)	9,842	8,253
有形固定資産合計	208,937	208,592
無形固定資産	3,860	3,722
投資その他の資産		
その他	46,020	44,288
貸倒引当金	△863	△822
投資その他の資産合計	45,157	43,466
固定資産合計	257,954	255,780
資産合計	444,587	431,956

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,441	41,127
短期借入金	40,586	39,789
1年内返済予定の長期借入金	20,091	19,520
引当金	4,305	2,174
その他	22,268	19,517
流動負債合計	130,690	122,126
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	78,697	78,717
役員退職慰労引当金	317	297
環境対策引当金	945	935
退職給付に係る負債	20,192	20,288
その他	28,644	28,043
固定負債合計	153,795	153,281
負債合計	284,486	275,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	32,239	32,239
利益剰余金	39,540	38,899
自己株式	△389	△389
株主資本合計	123,119	122,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,847	4,136
繰延ヘッジ損益	△162	△198
土地再評価差額金	44,578	44,542
為替換算調整勘定	△10,748	△12,195
退職給付に係る調整累計額	△5,719	△5,322
その他の包括利益累計額合計	33,796	30,963
非支配株主持分	3,186	3,106
純資産合計	160,101	156,548
負債純資産合計	444,587	431,956

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	89,454	82,734
売上原価	70,485	63,188
売上総利益	18,969	19,546
販売費及び一般管理費	14,505	14,944
営業利益	4,464	4,602
営業外収益		
受取配当金	340	307
為替差益	279	—
その他	430	486
営業外収益合計	1,049	793
営業外費用		
支払利息	459	386
為替差損	—	731
その他	717	867
営業外費用合計	1,177	1,984
経常利益	4,337	3,411
特別利益		
固定資産売却益	18	—
投資有価証券売却益	18	—
特別利益合計	36	—
特別損失		
固定資産処分損	46	65
訴訟関連損失	152	179
投資有価証券評価損	64	—
その他	—	24
特別損失合計	262	268
税金等調整前四半期純利益	4,111	3,143
法人税等	1,750	706
四半期純利益	2,361	2,437
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,299	2,430

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	2,361	2,437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,189	△1,664
繰延ヘッジ損益	△8	△36
為替換算調整勘定	△1,423	△1,383
退職給付に係る調整額	211	399
持分法適用会社に対する持分相当額	△396	△197
その他の包括利益合計	573	△2,881
四半期包括利益	2,934	△445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,877	△366
非支配株主に係る四半期包括利益	57	△78

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム・ 機能樹脂 事業	産業 マテリアル 事業	ヘルスケア 事業	繊維・商事 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	38,827	17,778	6,619	21,235	1,075	85,533	3,921	89,454	—	89,454
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	0	22	26	66	253	368	2,076	2,444	△2,444	—
計	38,827	17,800	6,645	21,301	1,328	85,901	5,997	91,898	△2,444	89,454
セグメント利益 又は損失 (△)	2,120	1,148	916	545	585	5,315	△114	5,201	△737	4,464

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△737百万円には、セグメント間取引消去△29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△707百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム・ 機能樹脂 事業	産業 マテリアル 事業	ヘルスケア 事業	繊維・商事 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	35,482	16,166	7,099	20,089	1,189	80,024	2,709	82,734	—	82,734
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	25	33	29	254	341	2,275	2,616	△2,616	—
計	35,482	16,191	7,132	20,118	1,443	80,366	4,984	85,350	△2,616	82,734
セグメント利益	2,812	497	1,092	225	677	5,303	24	5,328	△726	4,602

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△726百万円には、セグメント間取引消去△18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△707百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。